

基本目標5

すべての主体が手を取り合い、環境の保全と創造に意欲的に取り組むまちを実現する

地球温暖化や気候変動、生物多様性の損失などの国や地域を超えた喫緊の課題を解決するために、社会全体で環境への関心を高め、環境に配慮した生活や行動ができるよう、ライフスタイル・ビジネススタイルの転換を促進する必要があります。

また、これらの課題は複雑かつ多様化し、環境分野を超えた様々な主体との連携が必要であることから、市民、事業者、学校、行政等すべての主体が環境の保全と創造に関心を持ち、相互に連携して環境教育・学習や環境に配慮した活動などの施策を推進していくことが求められます。

このため、すべての主体の意識が向上するよう、環境教育・環境学習の場・機会のさらなる充実、自主的・自発的な活動の促進に繋がる情報の発信等を実施します。また、市民や事業者等が多種多様な生活様式や働き方に合わせて日常生活や事業活動のあらゆる場面に環境への配慮を織り込む仕組みを構築していきます。さらに、本市がこれまで構築してきた各主体間のネットワークを拡充し交流を深めることで、すべての主体が手を取り合い、環境保全と創造に意欲的に取り組む都市を目指します。

基本目標5における施策の柱と施策の方向

| 施策の柱 | 施策の方向 |
|---------------------|---------------------|
| 5-1 環境教育・環境学習の推進 | 5-1-1 学校における環境教育の推進 |
| | 5-1-2 市民等の環境学習の推進 |
| 5-2 環境保全活動の促進 | 5-2-1 環境活動の促進 |
| | 5-2-2 国際協力の推進 |

基本目標5における現況と課題

■指標の状況

基本目標5における成果指標の状況

| 基本目標1 | 成果指標 | | | | | |
|--|-------------------------------|------------------|-------------|------------------|--------------|---------------|
| | 成果指標項目 | 基準値 基準年度 | 前年度値 前年度 | 最新値 最新年度 | 目標値 令和7年度 | 目標値 令和12年度 |
| すべての主体が 手を取り合い、 環境の保全と創 造に意欲的に 取り組むまちを 実現する | 環境に配慮した行動を 実施している市民の割 合 | 91.5% (令和2年度) | — | 91.7% (令和3年度) | 92% | 92% |
| | 対前年度比 | - | - | ○ | - | - |
| | 対年度目標値比 | - | - | ○ | - | - |

基本目標5における目標指標の状況

| 施策の柱 | 目標指標 | | | | | |
|-----------------------------|--|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------------|----------------------------|
| | 目標指標項目 | 基準値 基準年度 | 前年度値 前年度 | 最新値 最新年度 | 目標値 令和7年度 | 目標値 令和12年度 |
| 5-1 環境教育・ 環境学習の 推進 | こどもエコ検定に取り組んだ ことで環境について児童が 興味を持った学校の割合 | 63% (令和元年度) | 94% (令和2年度) | 100% (令和3年度) | 95% | 95% |
| | 対前年度比 | - | ○ | ○ | - | - |
| | 対年度目標値比 | - | ○ | ○ | - | - |
| | 市と連携して環境教育・学 習の推進に取り組む民間事 業者等の団体数 | 11 団体 (R2.4.1時点) | 13 団体 (R3.4.1時点) | 13 団体 (R4.4.1時点) | 20 団体 | 25 団体 |
| | 対前年度比 | - | ○ | △ | - | - |
| 5-2 環境保全活 動の促進 | 環境イベントの参加者数合 計 | 1,404 人 (令和元年度) | — | 4,236 人 (令和3年度) | 2,470 人 | 2,720 人 |
| | 対前年度比 | - | - | ○ | - | - |
| | 対年度目標値比 | - | - | ○ | - | - |
| | SDGs企業認証数 | — | — | 136 社 | 新規認証企業 数5年間で 100 社増 | 新規認証企業 数10年間で 200 社増 |
| | 対前年度比 | - | - | ○ | - | - |
| | 対年度目標値比 | - | - | ○ | - | - |
| | 環境美化活動(市民清掃活 動)の参加者数 | 97,438 人 (令和元年度) | — | 97,707 人 (令和3年度) | 100,000 人 | 100,000 人 |
| | 対前年度比 | - | - | ○ | - | - |
| | 対年度目標値比 | - | - | ○ | - | - |

対前年度比の評価

○：前年度より良化している。 △：前年度からの悪化の程度が10%以内である。

×：前年度からの悪化の程度が10%を超えている。 -：評価なし

対年度目標値比の評価

○：年度目標値を達成している。 △：年度目標値との差が、年度目標値の50%以内である。

×：年度目標値との差が、年度目標値の50%を超えている。 -：評価なし

■現況

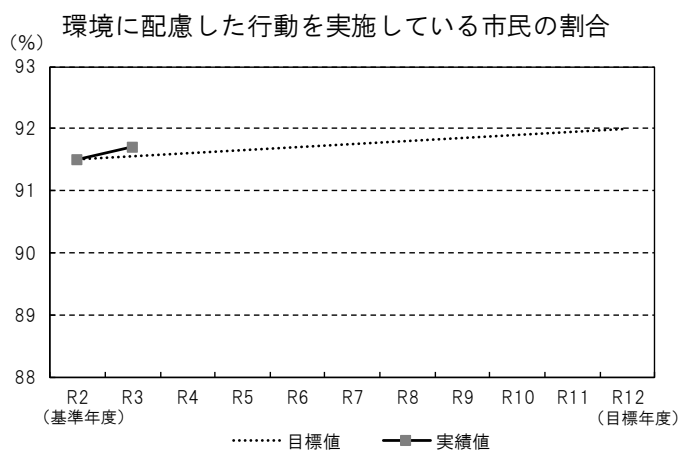
本市では、地球温暖化や気候変動、生物多様性の損失などの国や地域を超えた喫緊の環境課題を踏まえ、市民、事業者、学校、行政等すべての主体が相互に連携した取組を推進しています。

将来を担う子どもたちを対象とした「さいたまこどもエコ検定」や「ごみスクール」などの環境教育、学習事業を実施するほか、いつでも、どこでも、みんなで環境教育に取り組める仕組みづくりとして、民間事業者等とのネットワークの拡充を図っています。

また、環境保全活動は、市民の自主的・自発的な活動や事業者のCSR活動で支えられており、市内においても、緑化活動や自然緑地の保全活動、環境美化活動、リサイクル活動など、多くの市民活動団体や事業者が活動しています。

本市では、市民、事業者、学校等とのパートナーシップにより環境の輪が広がっていく機会づくりとして、環境フォーラムなどの各種イベントを開催するほか、さいたま市市民活動サポートセンターを設置し、市民の地域での活動を支援しています。

令和3年度(2021年度)の市民意識調査において、環境に配慮した行動を実施している市民の割合は91.7%で、基準年度の令和2年度(2020年度)より0.2ポイント増加しており、市民の環境への意識の高さや行動が進んでいることが表れています。



■課題

「環境に配慮した行動を実施している市民の割合」は高い割合で順調に推移しており、市民の環境への意識の高さや行動が進んでいることがうかがえます。

市民一人ひとりの環境配慮に関する心がけや実践を更に促すためには、学校において将来を担う子どもたちへの環境教育を推進するとともに、幅広い世代が身近な場所で環境学習に取り組むことができる機会づくりを進めていく必要があります。

また、市民や事業者等の環境保全活動に対して支援するなど、環境活動を促進するとともに、その輪を広げていくことが重要です。



5-1 環境教育・環境学習の推進

5-1-1 学校における環境教育の推進



環境を保全し、持続可能なまちを実現していくためには、環境配慮に関する一人ひとりの心がけと実践が必要であり、その基礎・基盤となる学校での環境教育をより充実していく必要があります。

将来を担う子どもたちが持続可能な社会の創り手となることを目指すESDの視点を踏まえた環境教育の促進を図るための取組を充実することにより、環境に関する理解や学び、体験を促進するとともに年齢に応じた環境教育の充実に努めます。

① 学校における環境教育の支援

★：主な取組で紹介しています。

| 事業名 | 実施概要など |
|--------------------------|---|
| 学校における環境教育の総合的、継続的な取組の支援 | 本市では、地域の自然や社会の中での体験活動を通して、環境への理解を深め、自然を尊重する心を育てるとともに、環境保全に寄与する行動がとれる児童・生徒の育成を図る環境教育の充実に向けて、環境教育資料を作成し、環境教育の推進に取り組んでいます。 令和3年度(2021年度)は、環境教育資料「自然観察ハンドブック〈小学校〉」の改訂版を8,700冊作成し、市内の小中学校に82冊ずつ、特別支援学校に41冊ずつ配布しました。 |
| 環境保全標語・ポスター作品コンクール事業★ | 環境保全をテーマに、市内の中学2年生から標語を、小学5年生からポスターを募集し、作品コンクールを実施しています。 |
| さいたまこどもエコ検定★ | 小学3年生から6年生を対象に、平成27年度(2015年度)からさいたまこどもエコ検定を実施しています。 |
| ごみスクールの実施 | 2-1-3①【ごみスクールの実施】を参照。 |
| 学校給食における地場産品の活用★ | 児童生徒に地場産物や文化に関心を持たせるとともに、農業に携わる方々に感謝の気持ちを育むなどの教育的効果があること、加えて、顔の見える生産者により提供される食材は安全性が高いことから、学校給食において地場産物の活用を進めています。 |

★主な取組 環境保全標語・ポスター作品コンクール事業

児童・生徒一人ひとりが環境に関心を持ち、どのような取組が必要かを考え、できることから行動するためのきっかけづくりを目的として、環境保全をテーマに、市内の中学2年生から標語を、小学5年生からポスターを募集し、作品コンクールを実施しています。応募作品の中から各18点の入賞作品を選考し、入賞者の表彰を行うとともに、環境保全の啓発に活用しています。

令和3年度(2021年度)は、市内小中学校183校に実施を呼びかけました。環境保全標語1,862点、環境保全ポスター285点と前年度より応募数は増加しました。標語やポスターの作成を契機として、児童・生徒の環境に対する意識の高揚と理解を深めることができました。



【入賞作品展の様子】

| 指標 | 平成 28 年度 (2016 年度) | 平成 29 年度 (2017 年度) | 平成 30 年度 (2018 年度) | 令和元年度 (2019 年度) | 令和 2 年度 (2020 年度) | 令和 3 年度 (2021 年度) |
|------------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|--------------------|----------------------|----------------------|
| 環境保全標語・ポスター作品コンクール応募者数 | 2,461 | 2,474 | 2,048 | 2,475 | 1,453 | 2,147 |

★主な取組 さいたまこどもエコ検定

児童が環境への関心を高め、行動を始めるとともに、地域への愛着を深めるきっかけづくりを目的として、小学3年生から6年生を対象に、平成27年度（2015年度）からさいたまこどもエコ検定を実施しています。

当検定は、エネルギーやごみ、いきもの、本市の環境に関するものなど、様々な分野から合計15問を三択形式で出題するもので、実施を希望する学校に対し、問題集と、詳しい解説付きの解答集を配布しています。

授業中や自習時間等にテスト形式で実施したり、宿題として実施するなど、各学校の状況に合わせて自由に取り組むことができ、学校での環境学習等の導入や、学習の成果を確認するためのまとめとして、また、夏休みの自由研究課題を見つけるきっかけづくり等に活用できるものとして、各学校へ実施を呼びかけています。

令和3年度（2021年度）は、市立小学校104校あてに実施を呼びかけた結果、市立小学校43校で合計6,264人の児童が検定に取り組み、実施校からは「児童が関心を持って問題に取り組んでいた」、「真剣に取り組む、今後の生活に活かそうとしていたので効果的だった」といった感想をいただいております、小学校での環境教育の推進が図られました。



【さいたまこどもエコ検定PRチラシ】

| 指標 | 平成 28 年度 (2016 年度) | 平成 29 年度 (2017 年度) | 平成 30 年度 (2018 年度) | 令和元年度 (2019 年度) | 令和 2 年度 (2020 年度) | 令和 3 年度 (2021 年度) |
|---------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|--------------------|----------------------|----------------------|
| さいたまこどもエコ検定実施児童数の推移 | 4,904 | 4,813 | 5,452 | 5,079 | 5,882 | 6,264 |

★主な取組 学校給食における地場産品の活用

「学校給食における地場産物の活用に関する調査（11月実施）」において、令和3年度（2021年度）の地場産物活用率は28.4%でした。

- ・令和3年（2021年）11月～令和4年（2022年）1月の3か月間は、市立全小・中・中等教育・特別支援学校の学校給食で本市産の米を使用しました。
- ・市内10区を3つに分け、地元生産者と栄養教諭・学校栄養職員等の情報交換会を3か年かけて実施しています。令和3年度（2021年度）は岩槻区、緑区で実施しました。（新型コロナウイルス感染症拡大のため、見沼区の実施は次年度に繰り越し）

- 令和4年度（2022年度）実施（予定）
中央区、南区、大宮区、見沼区（4区）
- 令和5年度（2023年度）実施（予定）
西区、北区、浦和区、桜区（4区）



【地場産品を活用した給食】

※写真左は米、上はくわい、右は小松菜、いずれも本市産を使用

② 学校における環境活動の促進

★：主な取組で紹介しています。

| 事業名 | 実施概要など |
|--------------------|--|
| 学校におけるリサイクル活動の実施 | 本市では、学校における環境活動を促進し、環境に働きかける実践力育成のための取組として、市内の小・中学校においてリサイクル活動を実施しています。 令和3年度(2021年度)は、市内の小・中学校全校で紙などのリサイクル活動を実施しました。 |
| 学校における環境美化活動の実施 | 本市では、学校における環境活動を促進し、環境に働きかける実践力育成のための取組として、市内の小・中学校において環境美化活動を実施しています。 令和3年度(2021年度)は、市内の小・中学校全校で校内美化活動に取り組みました。 |
| 学校給食用牛乳パックリサイクル事業★ | 市内の小・中学校において、資源の大切さやリサイクルへの児童・生徒の理解を深めるために、給食用牛乳パックのリサイクルを体験する事業を募り、リサイクル品を配布しています。 |

★主な取組 学校給食用牛乳パックリサイクル事業

令和3年度(2021年度)は、149校が参加し、回収量は93,000kgでした。回収された牛乳パックは、デスクトレイとして再生し、児童・生徒に還元しており、デスクトレイ34,100個を配布しました。

なお、平成28年度(2016年度)より、市内の中学校も事業に参加しています。



学校給食用牛乳パックリサイクル参加校数・回収量の推移

| | 平成28年度 (2016年度) | 平成29年度 (2017年度) | 平成30年度 (2018年度) | 令和元年度 (2019年度) | 令和2年度 (2020年度) | 令和3年度 (2021年度) |
|----------------------------|--------------------|--------------------|--------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 学校給食用牛乳パック リサイクル参加校数(校) | 148 | 148 | 146 | 151 | 147 | 149 |
| 学校給食用牛乳パック 回収量(kg) | 128,510 | 127,910 | 127,890 | 115,630 | 78,510 | 93,000 |

環境学習資料による啓発、学校への直接啓発等を通して、更なる参加協力を呼びかける必要があります。

5-1-2 市民等の環境学習の推進

重点6



環境配慮に関する一人ひとりの心がけと実践を促すためには、より多くの市民が環境への関心を高めるきっかけや、身近な場所で環境学習に取り組むことができる機会を創出し、提供していく必要があります。

公共施設における環境学習の実施や、市内の環境学習に関する情報提供を行うとともに、多様な生活様式や働き方などにも対応して、様々な手法によって環境学習の機会を創出します。また、民間事業者等との連携拡充を図ることで、地域の様々な環境教育資源を活用し、幅広い世代の市民が環境教育・学習に取り組める機会や場所を提供します。

① 環境学習の支援

★：主な取組で紹介しています。

| 事業名 | 実施概要など |
|----------------|---|
| 公共施設における環境学習★ | <p>一人ひとりが環境との関係を正しく理解し、日常生活や事業活動において、環境に配慮した行動を実践できるようになることを目的とし、市民や団体を対象にし、施設見学や講座等の環境学習を実施しています。</p> <p>節水意識や川を汚さない工夫など、水環境の保全意識を高めてもらうことを目的として、水道について学習する小学4年生を対象に市内の小学校で小学校水道教室及び公民館から依頼を受けて、職員を派遣し、公民館講座を実施しています。</p> <p>また、生涯学習総合センターにおいても、様々な環境学習を実施しています。詳細データp.139</p> |
| 環境教育ネットワークの充実★ | <p>いつでも、どこでも、みんなで環境教育に取り組むことができる仕組みづくりとして、市と民間事業者等が「さいたま市環境教育ネットワーク」を構築し、ネットワークの強化・拡充を図ることで、多くの市民が環境教育・学習に取り組む機会を提供していきます。</p> |

★主な取組 公共施設における環境学習

〔環境施設管理課〕

大宮南部浄化センター（みぬま見聞館）、桜環境センターにおいて、子どもから大人まで対象として、施設見学、出前講座、自然観察・環境学習会などのイベントを実施し、令和3年度（2021年度）は、計11,303人が参加しました。



【自然観察会の様子】



【ビオトープでの稲刈り体験の様子】

施設見学や講座を実施する際には、新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮し、受入人数の制限などを行いつつ、実施する必要があります。

〔水道総務課〕

令和3年度（2021年度）は、小学校水道教室に応募いただいた小学校52校については、すべて実施し、計5,281人が参加しました。公民館講座についても、応募いただいた7館で実施し、計126人が参加しました。

今後も引き続き内容の充実を図りながら、ニーズに合わせた事業を進めていきます。

〔生涯学習総合センター〕

公民館等では、自然観察教室や身近な自然を感じる講座、環境講座等を実施しています。

令和3年度（2021年度）は生涯学習総合センター及び各公民館29館において環境学習を実施し、計724人が参加しました。

より多くの市民が環境への関心を高めるきっかけづくりや、身近な場所で環境学習に取り組むことができる機会を提供していくため、今後も引き続き、各館で地域のニーズを分析し、内容を精査して事業を推進します。



【苔玉作り教室の様子】

★主な取組 環境教育ネットワークの充実

令和3年度(2021年度)から施行の「第2次さいたま市環境基本計画」では、「公民ネットワークを活用した環境教育活動の推進」を重点施策として位置付けていることから、これまで取り組んできた「ネットワーク型環境教育拠点施設@さいたまCITY」を「さいたま市環境教育ネットワーク」としてリニューアルし、環境教育に市と協働で取り組む民間事業者等とネットワークの強化・拡充を図ることで、多くの市民が環境教育・学習に取り組む機会を提供しています。

令和3年度(2021年度)のさいたま市環境教育ネットワークパートナー数は13であり、それぞれが特色を活かした施設見学やオンライン学習会、出前講座を実施し、総計6,223人の市民がさいたま市環境教育ネットワークを利用しました。

| 分野で選ぶ環境教育 | | |
|------------------------------------|-----------------------------|---|
| 地球温暖化 エネルギー 省エネ | 住宅ショールーム | 施設見学 ポラス株式会社 ナリアガーデン 株式会社藤前建設 フィットインプラザ |
| | 環境にやさしい施設 | 施設見学 AGS株式会社 |
| | 燃料電池ってなんだろう? | 出前教室 東京ガス株式会社 埼玉支社 |
| | 環境にやさしい住宅 特殊のシコトとエコ | 学習会 株式会社藤前建設 フィットインプラザ 出前教室 富士通Japan株式会社 埼玉支社 |
| 自然環境 自然体験 木材 | 環境学習施設・自然体験 | 施設見学 大宮南部浄化センター (みぬま見聞館) 桜葉センター |
| | 木の博物館 | 施設見学 木の博物館 木乃館 (きりよくかん) 大宮南部浄化センター (みぬま見聞館) |
| | 自然観察・環境学習会 | 学習会 桜葉センター |
| | 木に関する学習・工作 | 学習会 ポラス株式会社 ナリアガーデン 木の博物館 木乃館 (きりよくかん) ポラス株式会社 ナリアガーデン 木の博物館 木乃館 (きりよくかん) |
| 身近な自然にふれる・学ぶ | 出前教室 大宮南部浄化センター (みぬま見聞館) | |
| 資源循環 ごみ リサイクル し尿処理 | ごみ処理施設 | 施設見学 西郡環境センター クリーンセンター大宮 桜葉センター |
| | リサイクル施設 | 施設見学 リサイクル・プラザJB 桜葉センター |
| | し尿処理施設 | 施設見学 大宮南部浄化センター (みぬま見聞館) クリーンセンター西區 大宮南部浄化センター (みぬま見聞館) |
| | リサイクル | 学習会 桜葉センター 出前教室 リサイクル・プラザJB リサイクル・プラザみらい 埼玉県本部 |
| 食品ロス プラスチック問題 | 出前教室 生活協同組合 コープみらい 埼玉県本部 | |
| 大気・水質 エコドライブ 水 | 下水処理水再利用施設 | 施設見学 公財)埼玉県下水道公社 荒川左岸南部支社 |
| | 給水施設 | 施設見学 水道局東部配水場 |
| | エコドライブ | 学習会 ファンモータースクール |
| | 下水処理のしくみ | 出前教室 公財)埼玉県下水道公社 荒川左岸南部支社 下水処理センター (下水道維持管理課) |
| 下水道の出前授業 | 出前教室 道路管理総合研究所 | |
| SDGs | 実践事例の紹介 | 施設見学 リコージャパン株式会社 埼玉支社 |
| | ビジネスセミナー | 学習会 東京ガス株式会社 埼玉支社 |
| | 体験セミナー | 出前教室 東京ガス株式会社 埼玉支社 |
| その他 | はじめよう!エコ・クッキング | 出前教室 東京ガス株式会社 埼玉支社 |
| | 埼玉県環境アドバイザー | 出前教室 埼玉県環境部環境政策課 |

【分野で選ぶ環境教育（リーフレットより抜粋）】

② 環境学習情報の発信

| 事業名 | 実施概要など |
|-----------|---|
| 環境学習情報の提供 | 本市では、ホームページやInstagram（インスタグラム）等を通して、環境学習に関連する情報を市民に提供しています。 |



5-2 環境保全活動の促進

5-2-1 環境活動の促進



環境を保全し、持続可能なまちを実現していくためには、専門的な知識を持つ人や団体、地域のことを良く知る人や団体、体験活動や実践活動を指導できる人や団体等を発掘、育成するとともに、様々な主体と連携・協働し、様々な環境分野における活動を促進していく必要があります。

市民、市民活動団体、事業者などの環境活動を促進するため、様々な支援を行うとともに、異なる主体同士のパートナーシップや、環境活動のネットワーク化を支援することで、取組を効果的に推進していきます。

① 環境活動の普及啓発

★：主な取組で紹介しています。

| 事業名 | 実施概要など |
|----------------|--|
| 環境啓発事業★ | 市民の環境保全への関心と理解を深め、自発的に環境にやさしいライフスタイルが実践されるよう、様々な方法で、関連情報を継続的に周知・啓発しています。 |
| 「さいたま市環境会議」の活動 | さいたま市環境会議は、環境学習・環境保全の推進による啓発活動、市民、事業者、行政のパートナーシップ及びネットワークづくりなどで地域から本市の環境保全の推進を図ることを目指しています。 詳細データp.141 |

★主な取組 環境啓発事業

環境啓発事業として、6月5日の「環境の日」を中心とする6月の1か月を「環境月間」として、市報、SNS、電光掲示等を活用して幅広く働きかけを行っています。

また、環境保全標語・ポスター作品コンクールで市誕生20周年特別賞を受賞した作品について、標語を市内清掃事務所で掲示し、ポスターを公用車へ貼付しました。



東部清掃事務所にて環境保全標語コンクール市誕生20周年特別賞作品の横断幕の掲示



公用車への環境保全ポスター作品コンクール市誕生20周年特別賞作品の貼付

② 環境美化の推進

★：主な取組で紹介しています。

| 事業名 | 実施概要など |
|---------------|--|
| 環境美化の推進に係る事業★ | 快適な生活環境の確保と、安心、安全できれいなまちづくりを進めるため、市内12駅周辺を環境美化重点区域及び路上喫煙禁止区域に指定し、環境美化指導員による巡回指導を実施しています。 |

★主な取組 環境美化の推進に係る事業

人が多く集まる路上での喫煙は、ほかの歩行者への火傷や被服の焼け焦げ、また、吸い殻のポイ捨て、さらには、吸い殻の不始末による火災に至るまで、様々な問題が指摘されています。

このため、「さいたま市路上喫煙及び空き缶等のポイ捨ての防止に関する条例」を施行し、快適な生活環境の確保と、安全・安心できれいなまちづくりを進めることを目指しています。

平成19年（2007年）には大宮、浦和及び南浦和駅周辺を、また平成23年（2011年）には北浦和、武蔵浦和、東大宮及び宮原駅周辺を環境美化重点区域及び路上喫煙禁止区域に指定し、環境美化指導員が巡回指導を行うことにより、ポイ捨て及び路上喫煙行為の減少に一定の効果が得られています。令和2年（2020年）には東京2020大会に向けて、会場最寄り駅周辺の環境美化を推進するため、さいたま新都心駅、浦和美園駅、与野駅、北与野駅、岩槻駅周辺を新たに環境美化重点区域及び路上喫煙禁止区域に指定しました。



【路上喫煙禁止区域路面標識】



【環境美化指導員による巡回指導】

③ 市民・団体等の活動への支援

★：主な取組で紹介しています。

| 事業名 | 実施概要など |
|--------------------|--|
| 桜区クリーン活動の実施 | 桜区では桜の開花前の時期に、区内の各自治会や企業、小中学校のPTAの方々と職員が協働し、区内一斉に道路や公園等において清掃活動を実施することで、地域コミュニティの醸成や区民の環境美化意識の向上を図っています。 |
| 浦和区秋のごみゼロ運動★ | 浦和区では、「みんなでごみ拾い きれいな浦和区にしましょう」を目的とし、浦和区自治会連合会と共催で、浦和区民を対象に地域の清掃活動「浦和区秋のごみゼロ運動」を実施しています。 |
| 見沼田圃の美化活動（緑区）★ | 緑区内にある貴重な財産であり、広大な緑地空間である「見沼田圃」を保全するため、区民との協働による清掃活動を実施しています。 |
| 花いっぱい運動の推進 | 3-2-2①【花いっぱい運動の推進】を参照。 |
| 緑のボランティア団体の活動推進事業★ | 地域で身近なみどりを愛し、みどりに親しみ、みどりから学び、みどりを保全するという考え方をより多くの人々に広めるために、緑のボランティア団体の活動を推進しています。 |

| | |
|-----------------------|---|
| 団体資源回収運動補助事業 | 2-1-2①【団体資源回収運動補助事業】を参照。 |
| さいたま新都心クリーン作戦の実施★ | さいたま新都心地区の環境美化を目的とし、同地区内の事業者、地権者等を対象に清掃活動を実施しています。 |
| 綾瀬川クリーンプロジェクトin美園の開催★ | 美園地区を流れる綾瀬川の美化、環境保全を目的とし、ボランティアを中心に綾瀬川沿いの遊歩道及び大門上池調節池広場の清掃活動を実施しています。 |

★主な取組 浦和区秋のごみゼロ運動

令和3年度（2021年度）は、コロナ禍のため啓発活動は中止とし、マスク着用などの対策を図りながら、浦和駅、北浦和駅及び駒場運動場周辺で、自治会などの皆様と区職員が清掃活動を行いました。昨年度に引き続き、浦和レッドダイヤモンド株式会社クラブスタッフにも御参加いただきました。環境に配慮したバイオマス素材のごみ袋を使用し、本市誕生20周年記念事業として20周年記念ロゴ及びヌウのイラストをごみ袋に印刷しました。制限のある環境の中で、自治会の方々と協力しあい、実施することが出来ました。

| | |
|----------------------|--------------------------------|
| 実施日 | 令和3年（2021年）11月14日（日） |
| 浦和区秋のごみゼロ運動・キャンペーン活動 | 参加者5,004人 （自治会及びその他団体76団体等） |
| ごみ収集量 | 1,850kg |



【清掃活動の様子】

参加自治会から、地域の子どもの参加を増やしたいという要望があるため、特に子育て世帯が参加しやすい日曜開催を継続的に実施し、区民への浸透を図っていきます。

★主な取組 見沼田圃の美化活動（緑区）

令和3年度（2021年）は、新型コロナウイルス感染症対策を講じ、見沼臨時グラウンド周辺で清掃活動を行いました。約200名の方に参加いただき、可燃ごみ620kg、不燃ごみ350kg、合わせて970kgのごみを回収しました。

| | |
|-------|------------------------|
| 実施日 | 令和4年（2022年）3月12日（土） |
| 実施場所 | 見沼臨時グラウンド周辺 |
| 参加人数 | 約200人 |
| ごみ収集量 | 970kg（可燃620kg、不燃350kg） |



★主な取組 緑のボランティア団体の活動推進事業

市内の自然緑地等の保全活動や、多くの市民への普及・啓発、環境教育等を推進する緑のボランティア団体「さいたま市みどり愛護会」の活動推進事業を実施しています。

事業では、本市が管理する特別緑地保全地区や自然緑地等において、下草刈りや樹木の間伐、枝打ち、幼樹の育成、腐葉土づくりなどの保全活動のほか、稀少野生動植物の保全、環境教育や体験学習の支援、自然観察会の実施、広報誌の発行などを行っています。



【保全活動の様子】

さいたま市みどり愛護会の会員数、支部数、活動場所数の推移

| | 平成28年度 (2016年度) 4月1日現在 | 平成29年度 (2017年度) 4月1日現在 | 平成30年度 (2018年度) 4月1日現在 | 令和元年度 (2019年度) 4月1日現在 | 令和2年度 (2020年度) 4月1日現在 | 令和3年度 (2021年度) 4月1日現在 |
|-----------|------------------------------|------------------------------|------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 会員数(人) | 256 | 233 | 235 | 235 | 236 | 234 |
| 支部数(支部) | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 |
| 活動場所数(ヶ所) | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 |

ボランティアの高齢化が進んでいることから、新たな担い手を確保する必要があります。

★主な取組 さいたま新都心クリーン作戦の実施

快適な都市環境を維持するため、地区内の地権者などで構成する「さいたま新都心まちづくり推進協議会」で、地域の清掃活動であるクリーン作戦を平成15年度(2003年度)から毎年実施しています。

令和3年度(2021年度)は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、6月と11月にクリーン週間を設定し、構成員ごとに各自清掃活動を実施しました。



| | 平成28年度 (2016年度) | 平成29年度 (2017年度) | 平成30年度 (2018年度) | 令和元年度 (2019年度) | 令和2年度 (2020年度) | 令和3年度 (2021年度) |
|---------|--------------------|--------------------|--------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 実施回数(回) | 2 | 1 | 2 | 1 | 2 | 2 |

事業者と行政が一体となって継続的に清掃活動を実施し、快適な都市環境の創出、維持に努める必要があります。

★主な取組 綾瀬川クリーンプロジェクト in 美園の開催

美園地区を南北に流れる「綾瀬川」では、遊歩道整備や沿川連携による美化活動等“かわまちづくり”が進められています。

綾瀬川遊歩道周辺の美化活動等を行う登録制サポーター制度として令和元年(2019年)7月に組織された「綾瀬川サポーターズ」(埼玉県川の国応援団美化活動団体及びさいたま市水辺のサポート制度登録団体/事務局:一般社団法人美園タウンマネジメント)主催のもと、「綾瀬川クリーンウォーク in 美園」がソーシャルディスタンスを確保しながら開催されました。



【「綾瀬川クリーンウォーク」の様子】

令和3年(2021年)7月17日には約30人、令和4年(2022年)3月5日には約70人の参加者により綾瀬川周辺の清掃活動が実施されました。

本市では、令和4年度(2022年度)以降も引き続き「綾瀬川クリーンウォーク in 美園」の開催支援など“かわまちづくり”に公民連携で取り組んでいきます。


綾瀬川周辺の環境維持及び環境保全活動の促進のため、今後も地域とより一層連携し、本活動を継続・発展していく必要があります。

④ 事業者の環境配慮の促進

| 事業名 | 実施概要など |
|---------------|---|
| 環境研修会 | 近年の環境問題のポイントや環境行政の取組を紹介し、工場・事業場の環境保全活動の一助とすることを目的として、工場・事業場の環境保全担当者を対象に、研修会を実施しています。 詳細データp.142 |
| ISO認証取得支援事業 | (公財)さいたま市産業創造財団が実施する窓口相談や専門家派遣を通じて、企業におけるISO取得を含めて支援しています。 令和3年度(2021年度)では、合計408名の専門家の登録を行っており、企業の多様なニーズに応える体制づくりを行いました。 |
| 中小企業支援事業 | 企業における環境対策の支援について、(公財)さいたま市産業創造財団が、事業者のニーズを元に窓口相談や専門家派遣の中で対応しています。 令和3年度(2021年度)では、窓口相談3,944件及び専門家派遣271回を行い、環境分野を含めた幅広い企業の取組を支援しました。 |
| 大規模小売店舗立地事務事業 | 大規模小売店舗の立地に関し、その周辺地域の生活環境の保持のため、大規模小売店舗立地法に基づく届出を受理し、施設の配置及び運営方法について適正な配慮が実施されるよう指導を行っています。 詳細データp.142 |
| 工場立地法届出受理事務事業 | 工場立地法に基づき、一定規模以上の工場を設置する場合などの事前協議や届出の受理を行っています。また、その内容が法の準則に適合しない場合には勧告・命令等を行います。 詳細データp.142 |
| 相談体制や研修機会の充実 | 公害防止や環境保全に関する意識の向上、相談体制の構築を目的として、工場・事業場の環境保全担当者を対象とした研修会に講師を派遣し、環境保全に関する法令解説や制度説明、事例紹介等を実施しました。 |
| SDGs企業活動推進事業 | 持続可能な開発目標(SDGs)の理念を尊重し、経済・社会・環境の3つの分野を意識した経営活動を推進する市内企業136社を「さいたま市SDGs認証企業」として認証し、企業のSDGsの取組を深化させるコミュニティの開催や認証企業の取組を紹介する事例集作成を通じ持続可能な経営に取り組む市内企業支援に取り組みました。 |

⑤ 連携・協働の推進

★：主な取組で紹介しています。

| 事業名 | 実施概要など |
|-------------------|---|
| 「さいたま市環境フォーラム」の開催 | 市民、事業者、学校、行政などがそれぞれの立場で行っている環境保全活動についての発表を通じ、お互いの情報を交換し交流する場として「さいたま市環境フォーラム」を開催しています。  詳細はコラムp.138 |
| 「さいたま打ち水大作戦」の開催★ | 環境配慮に関する一人ひとりの心がけと実践を促すため、市民活動団体や事業者と協働・連携し、夏を涼しく過ごすための昔ながらの工夫として、打ち水大作戦を実施しています。 |

| | |
|-----------------|--|
| SNSを活用した環境情報の発信 | <p>「環境教育・学習」に関連した画像等を発信することで、市民等の環境意識と行動への意欲を高め、環境教育に取り組める機会を提供し、環境教育・学習の推進を図ることを目的とし、Instagram（インスタグラム）のアカウントで「環境教育・学習に使える情報」を紹介しています。</p> <p>令和3年度（2021年度）は、53回投稿を行いました。</p> |
|-----------------|--|

★主な取組 「さいたま打ち水大作戦」の開催

環境配慮に関する一人ひとりの心がけと実践を促すため、市民活動団体や事業者と協働・連携し、夏を涼しく過ごすための昔ながらの工夫として、「打ち水」を実施しています。

令和3年度（2021年度）は、コクーンシティ コクーン2 コクーン広場において「さいたま打ち水大作戦2021」を開催し、参加8団体によるパネル展示・体験ブースを設置し、イベント全体の来場者は約750人でした。雨水再生水を使用した「打ち水」を行い、打ち水の効果を確認するため、遠赤外線サーモグラフィによる温度測定を実施しました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、感染防止策を講じたイベント開催方法の検討が課題になっています。開催時間や企画内容などの見直しも検討しながら、多くの方々に参加していただける夏休みイベントとして開催し、環境に配慮した行動について、普及・啓発を行っていく必要があります。



【さいたま打ち水大作戦 2021の様子】

5-2-2 国際協力の推進



SDGsでは、国際社会全体として将来にわたって持続可能な発展ができるよう取り組んでいくことが必要とされています。

本市の優れた設備と技術を有する環境関連施設や、これまでの環境の保全と創造への取組の経験を活かすとともに、市内の事業者等とも連携することにより、環境分野における国際協力に貢献します。

① 国際協力の推進

| 事業名 | 実施概要など |
|---------------|--|
| JICAの研修事業への参画 | <p>九都県市首脳会議※環境問題対策委員会幹事会において、JICAが企画する途上国の将来を担う青年層を対象とした研修事業に参画し、各自治体の先進的な環境関連事業や施設の紹介を通じて、研修員の環境分野の知識向上を図っています。</p> <p>令和3年度（2021年度）は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で研修員が来日せず、現地の研修員に資料を提供などして行う遠隔研修を実施しました。</p> <p>※首都圏の都県及び政令指定都市（埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・横浜市・川崎市・千葉市・本市・相模原市）の知事及び市長で構成</p> |

再生自転車の海外譲与

本市では、放置自転車対策の結果発生する撤去自転車の一部を再生自転車として、開発途上国に無償譲与し、当該国の保健医療従事者等の交通手段として利用することにより、保健福祉の向上・増進を希求し、国際協力に貢献しています。 [詳細データp.142](#)

コラム

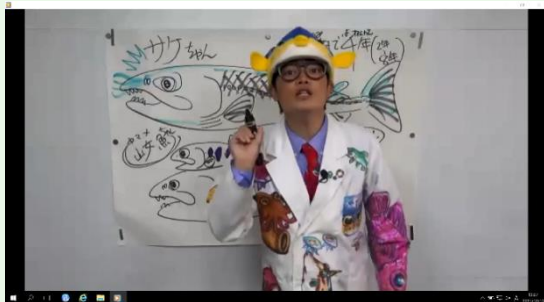
さいたま市環境フォーラム



市民、事業者、学校、行政などがそれぞれの立場で行っている環境保全への取組について展示・発表を行い、多くの方々に環境に関心を持っていただくための環境教育・学習の場、またお互いの情報交換と交流の場を創出し、より一層の環境保全活動の推進を目的に、平成13年度（2001年度）から開催しています（令和2年度（2020年度）は新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止）。

令和3年度（2021年度）は、新型コロナウイルス感染症の影響により、「さかなクン」を講師に迎え、「お魚と環境のおはなし」と題し、海洋プラスチックなどの環境問題や豊かな自然や海を守るため、私たちに何ができるかを一緒に考えるオンライン特別授業を開催しました。特別授業には市立小学校の5年生及び6年生3,486人が参加しました。

今後の環境フォーラムについても、より多くの方々が環境に関心を持ち、考え、できることから行動するきっかけの場となるイベントとして、引き続き開催していきます。



【「さかなクン」講師による「お魚と環境のおはなし」オンライン授業の様子】

さいたま市環境フォーラム参加者数の推移

| 指標 | 平成 21 年度 (2009 年度) | 平成 22 年度 (2010 年度) | 平成 23 年度 (2011 年度) | 平成 24 年度 (2012 年度) | 平成 25 年度 (2013 年度) | 平成 26 年度 (2014 年度) |
|----------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| 参加者数 (人) | 1,050 | 1,406 | 885 | 1,301 | 800 | 1,162 |

| 平成 27 年度 (2015 年度) | 平成 28 年度 (2016 年度) | 平成 29 年度 (2017 年度) | 平成 30 年度 (2018 年度) | 令和元年度 (2019 年度) | 令和 2 年度 (2020 年度) | 令和 3 年度 (2021 年度) |
|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|--------------------|----------------------|----------------------|
| 1,045 | 1,071 | 1,230 | 1,131 | 359 | — | 3,486 |



5-1-2①【公共施設における環境学習】

〔環境施設管理課〕

| 施設 | 対象 | 内容 | 参加者数 |
|----------------------------|------------------------------|---|---|
| 大宮南部 浄化センター (みぬま見聞館) | 保育園、 幼稚園、 小中学校 及び団体 | <p>【団体見学】</p> <p>保育園や幼稚園、小中学校や一般の団体見学を随時受け入れ、し尿処理のしくみや水環境などの学習を行ったり、自然庭園の観察やそこに住む生きものとのふれあいを通じて、環境への関心を持つ機会を提供しました。</p> <p>【出前講座】</p> <p>平成29年度(2017年度)より開講した出前講座では、幼児政策課との連携もあり、市立保育園などを中心に出前講座を実施、本市の市域に生息する生きものの紹介、生きものとのふれあい体験を通じて身近な自然や環境にふれてもらいました。</p> | <p>【団体見学】</p> <p>令和3年度(2021年度): 1,575人</p> <p>【出前講座】</p> <p>令和3年度(2021年度): 1,243人</p> |
| | 小中学生 及びその保 護者 | <p>【自然観察・環境学習会(4月、7月、8月、11月)】</p> <p>環境に関する様々な話題を取り上げて学習するとともに、自然庭園に生息する動植物を観察し、自然環境への関心を高めてもらえるよう年4回実施しました。</p> <p>【エコ工作シリーズ(7月、8月)】</p> <p>自然素材利用もしくはリサイクルをテーマとしたミニ工作に挑戦しました。</p> | <p>令和3年度(2021年度): 217人</p> |
| 桜環境センター | 市民 | <p>【環境啓発講座・イベント】</p> <p>環境に関する様々な課題を取り上げた啓発・学習や、ピオトープに生息する動植物の観察を通して、自然環境への関心を高めてもらえるよう実施しました。</p> | <p>令和3年度(2021年度): 4,687人</p> |
| | 小学校、市 民及び団体 | <p>【工場棟見学】</p> <p>もえるごみを焼却・溶融処理する熱回収施設、資源物やもえないごみを処理するリサイクルセンターを見学していただくことで、ごみ処理の流れや、熱エネルギー・資源の再生利用がどのように行われているのかを学べる場を提供しました。</p> | <p>令和3年度(2021年度): 3,581人</p> |

〔水道総務課〕

| 施設 | 対象 | 内容 | 参加者数 |
|-----|-------|---|----------------------------------|
| 小学校 | 小学4年生 | <p>【小学校水道教室】</p> <p>節水意識や川を汚さない工夫など、水環境の保全意識を高めていただくことを目的として実施しました。</p> | <p>令和3年度(2021年度): 52校/5,281人</p> |
| 公民館 | 市民 | <p>【公民館講座】</p> <p>節水意識や川を汚さない工夫など、水環境の保全意識を高めていただくことを目的として実施しました。</p> | <p>令和3年度(2021年度): 7館/126人</p> |

〔生涯学習総合センター〕

令和3年度(2021年度) 生涯学習総合センター及び各公民館における環境学習の実施例

| 公民館名 | 対象 | 内容 | 参加者数 |
|-------|------|---|------|
| 馬宮公民館 | 成人の方 | <p>【発見! ごみ捨てが楽しくなる講座 ~住みやすくきれいなさいたま市に~】</p> <p>ペットボトルリサイクル・ごみの分別等について学びました。</p> | 44人 |
| 植水公民館 | 成人の方 | <p>【古布で布ぞうりを編もう】</p> <p>自分で作った布ぞうりを履いて、足うらを刺激し健康促進も図りました。</p> | 9人 |

| | | | |
|---------|-----------|--|------|
| 大砂土公民館 | どなたでも | 【寄せ植え教室】 クリスマスの時期にあったガーデニングを学びました。 | 20人 |
| | 成人の方 | 【お正月飾り教室】 苔玉で松を添えてお正月飾りを作りました。 | 12人 |
| 宮原公民館 | どなたでも | 【リサイクル教室】 リサイクル工芸・手芸を学ぶとともに、地域で交流できる場を設けました。 | 15人 |
| | どなたでも | 【ミニガーデニング教室】 寄せ植を学ぶとともに、地域で交流できる場を設けました。 | 20人 |
| 植竹公民館 | 成人の方 | 【初夏のハーブの楽しみ方～虫よけスプレーづくり～】 初夏に旬を迎えるハーブの種類を学ぶと共に、虫除けに効果があるスプレーづくりを行いました。 | 12人 |
| | 成人の方 | 【プリザーブドフラワーを使ったクリスマスアレンジ教室】 プリザーブドフラワーを使ったクリスマスアレンジ教室を行いました。 | 11人 |
| | 成人の方 | 【多肉植物の寄せ植え教室】 日本の環境・風土に適した多肉植物の種類を学びながら、寄せ植えを行いました。 | 15人 |
| | 成人の方 | 【植物でつくるクリスマスの飾り物教室】 クリスマスのスワッグづくりとハーブティーを嗜みました。 | 10人 |
| 桜木公民館 | 18歳以上の方 | 【SDGs講座】 「食」を通じて、大切な資源の有効活用や環境負荷への配慮が必要であることを学ぶとともに、持続可能な未来の地域社会を築くため、世界の現状等を学びました。 | 22人 |
| 桜木公民館 | 18歳以上の方 | 【こけ園芸講座】 自然を愛する心の醸成を目的に、ハート型に苔を巻き付け、コケテリウムを製作する教室を開催しました。 | 10人 |
| 大宮南公民館 | 成人の方 | 【プリザーブドフラワー教室】 手話通訳者の配置可能な聴覚障害者に配慮したフラワーアレンジメント教室を開催しました。 | 10人 |
| 大宮中部公民館 | 18歳以上の方 | 【ガーデニング教室】 自然を愛する心の醸成を目的とした、季節の植物による寄せ植え講座。(作品は文化祭で展示) | 17人 |
| 三橋公民館 | 小学生とその保護者 | 【親子自然観察教室】 三橋総合公園の植生や生態を親子で学びました(植物・鳥)。 | 17人 |
| 大宮東公民館 | 成人の方 | 【秋の花いっぱい運動】 公民館のプランターに花を植える、地域住民のボランティア活動をしました。 | 13人 |
| 七里公民館 | 成人の方 | 【園芸サロン】 七里地区社会福祉協議会と共催で、樹木の剪定方法等を学びました。 | 130人 |
| 下落合公民館 | 成人の方 | 【癒しのグリーン「寄せ植え講座」】 室内でも育てて楽しめる観葉植物の寄せ植えをしました。 | 11人 |
| 土合公民館 | どなたでも | 【秋のガーデニング教室】 季節の花の寄せ植えをしました。 | 28人 |
| 大久保東公民館 | どなたでも | 【宇宙アサガオを育てて、宇宙の旅にでかけよう！】 宇宙をテーマにした講座を開催するとともに宇宙アサガオを鉢植えすることにより、地域に広めました。 | 11人 |
| | 小学生以上の方 | 【サクラソウの育て方講座】 桜区の花「サクラソウ」の育て方を学びました。 | 14人 |
| 領家公民館 | 20歳以上の方 | 【ガーデニング教室「お正月の寄せ植え」】 冬の植物を題材にした寄せ植えを学びました。 | 24人 |
| 上木崎公民館 | どなたでも | 【エコでおしゃれな「ふろしき活用術講座」】 エコでおしゃれなふろしき術を学びました。 | 5人 |
| 大東公民館 | 20歳以上の方 | 【ガーデニング教室／初夏の寄せ植え】 初夏の花を用いてガーデニングを学びました。 | 20人 |
| 針ヶ谷公民館 | 20歳以上の方 | 【寄せ植え教室】 夏の草花の寄せ植えづくりを行いました。 | 9人 |
| 北浦和公民館 | どなたでも | 【SDGsを知ろう！学ぼう！はじめよう！】 | 20人 |

| | | | |
|---------|--------------|--|-----|
| | | 地球環境を守るための子どもの発想やアイデアを学び、知識を深めました。 | |
| 文蔵公民館 | どなたでも | 【プランターで始めるガーデニング教室】 季節の花を使って、寄せ植えを楽しみました。 | 16人 |
| 南浦和公民館 | 成人の方 | 【園芸教室 夏色～ハンギングバスケット～】 寄せ植えを楽しみました。 | 13人 |
| 谷田公民館 | どなたでも | 【ガーデニング教室】 季節の花を使って、寄せ植えを楽しみました。 | 16人 |
| 東浦和公民館 | 成人の方 | 【園芸講座「苔テラリウム」】 苔の特性や育て方について学び、植物に接しました。 | 15人 |
| 善前公民館 | 20歳以上の方 | 【苔玉づくり教室】 苔玉づくりを学び、植物に接する機会を提供した。 | 8人 |
| 大古里公民館 | どなたでも | 【水道教室】 本市の水道の歴史や水と健康の話、災害時の水の備蓄などについて学びました。 | 10人 |
| | 3歳以上の子どもと保護者 | 【親子で楽しもう！おいもほり&リース作り体験】 近くの畑でいもほりをし、いものつるでリースを作りました。 | 35人 |
| 原山公民館 | 成人の方 | 【テラリウムを作ろう】 小さいガラスの器にドライフラワーでアレンジメントを作りました。 | 8人 |
| 岩槻本町公民館 | 成人の方 | 【リサイクル講座】 古紙等を利用してオリジナル作品を制作しました。 | 27人 |
| | 18歳～30代の方 | 【若者向け講座「ガーデニング教室」】 若者世代を対象として緑や花に親しむため、季節の寄せ植えを作る講座を実施しました。 | 6人 |
| | 成人の方 | 【ガーデニング教室】 緑や花に親しむため、季節の寄せ植えを作る講座を実施します。 | 20人 |
| 岩槻南部公民館 | 市内在住・在勤の方 | 【苔玉づくり】 苔玉づくりを楽しく学びました。 | 21人 |

5-2-1①【「さいたま市環境会議」の活動】

「さいたま市環境会議」は、本市の環境基本計画に掲げる望ましい環境像や基本目標の実現に向けて、平成17年（2005年）4月に設立されました。環境学習の推進による啓発活動、市民、事業者、行政のパートナーシップ及びネットワークづくりの推進、その他環境保全に関する活動で、地域から本市の環境保全の推進を図ることを目指しています。

令和3年度（2021年度）は、7月に「涼エコライフ」の普及啓発を目的に市や県、事業者と共催で「さいたま打ち水大作戦2021」を開催しました。また、通年で市民参加型の生きもの調査を実施しました。

令和3年度(2021年度)の主な活動

| 年月 | 項目 | 活動概要 |
|-----|------------|--|
| 7月 | さいたま打ち水大作戦 | 毎年、市や県等と共催により「さいたま打ち水大作戦2021」を開催し、「涼エコライフ」の普及啓発を行いました。 |
| 10月 | 環境フォーラム | 毎年参加している「さいたま市環境フォーラム」は市立小学5、6年生を対象に実施したため不参加となりました。 |
| 通年 | 環境学習会 | 新型コロナウイルス感染症の影響により開催を見送りました。 |
| | みんなの生きもの調査 | 市民参加型の生きもの調査の仕組みを構築し、ミニトンボ池及びチョウを呼ぶ花を設置し、本市と連携して生きもの調査を実施しました。パンフレットを作成し、生きもの調査への参加を呼び掛けました。 |
| | 情報の発信 | WEB上にて活動報告などの情報を発信しました。 |

5-2-1④【環境研修会】

令和3年度(2021年度)については、新型コロナウイルスの影響により中止しました。

環境研修会参加者数の推移

| | 平成28年度 (2016年度) | 平成29年度 (2017年度) | 平成30年度 (2018年度) | 令和元年度 (2019年度) | 令和2年度 (2020年度) | 令和3年度 (2021年度) |
|--------------|--------------------|--------------------|--------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 環境研修会参加者数(人) | 80 | 68 | 74 | 78 | — | — |

参加者にとってより有意義な研修とするため、過去の参加者からのアンケート結果も踏まえ、ニーズに即した話題や喫緊の課題をテーマに選定し、より多くの事業者の皆様に参加していただけるよう広報していきます。

5-2-1④【大規模小売店舗立地事務事業】

大規模小売店舗立地法に基づく届出数の推移

| | 平成28年度 (2016年度) | 平成29年度 (2017年度) | 平成30年度 (2018年度) | 令和元年度 (2019年度) | 令和2年度 (2020年度) | 令和3年度 (2021年度) |
|--------|--------------------|--------------------|--------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 届出数(件) | 30 | 31 | 33 | 38 | 40 | 30 |

本事業は法律に基づく届出の対応事務であることから、引き続き設置者に対し十分な事前協議を行い、適正な環境配慮がなされるよう指導を進めます。

5-2-1④【工場立地法届出受理事務事業】

工場立地法に基づく届出数の推移

| | 平成27年度 (2015年度) | 平成28年度 (2016年度) | 平成29年度 (2017年度) | 平成30年度 (2018年度) | 令和元年度 (2019年度) | 令和2年度 (2020年度) | 令和3年度 (2021年度) |
|--------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 届出数(件) | 2 | 3 | 6 | 3 | 2 | 2 | 1 |

本事業は法律に基づく届出の対応事務であることから、引き続き事業者に対し十分な事前協議を行い、適正な環境配慮がなされるよう指導を進めます。

5-2-2①【再生自転車の海外譲与】

市内で撤去した放置自転車を再生整備し、「再生自転車海外譲与自治体協議会」を通じて、アジア、アフリカ等の発展途上国に無償譲与しました。

再生自転車海外譲与台数の推移

| | 平成28年度 (2016年度) | 平成29年度 (2017年度) | 平成30年度 (2018年度) | 令和元年度 (2019年度) | 令和2年度 (2020年度) | 令和3年度 (2021年度) |
|---------|--------------------|--------------------|--------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 譲与台数(台) | 140 | 120 | 120 | 110 | 110 | 110 |
| 譲与先 | リベリア、 トーゴ等 | シエラレオネ、 カンボジア等 | タンザニア、 ザンビア等 | ザンビア | ザンビア | ガーナ |